

# 一般質問発言通告書

発言順位 3 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和2年6月9日

三島市議会議長 大房正治様

三島市議会議員 10 番 石井真人



質問事項 1	With コロナに備えた三島市の感染症の医療体制について
具体的内容	警戒宣言が解除されたといえども、東京都内や北九州市においても新規感染者が発生している状況が続いており予断が許されない。第2波、第3波も予測される中で、三島市の医療体制について伺いたい。
	三島市の医療体制
	1 三島市の属している駿東田方医療圏の広域医療体制はどうなっているのか。他地域で起こったような医療崩壊を防ぐため、事前の取り組みを行っているのか。
	2 国や県を待たずに動き出している三島市独自の対応はあるのか。また、第2波が起こった時、現状の三島市の医療体制の限界について (一日のPCR検査数、受け入れ病床数、軽症者療養施設の確保、医療資材等)
	3 県の方針として地域医療体制の充実とあるが、今後、駿東田方医療圏に関する第2波に備えた医療体制強化に伴う三島市としての財政負担額ほどの程度想定しているか。
	4 税込減や負債残高増加、財政調整基金の枯渇化等、劇的に変化する市の財政状況を踏まえた上で長期財政計画を変更する予定はあるのか。その結果が再開発に及ぼす可能性は。
	5 新型コロナ対策に伴う医療拠点整備に対し財政支出を伴う中で駅前再開発の都市計画決定を11月に急いで進める理由は、開発コンセプトは「広域健康医療拠点」としているが、With コロナの時代において人口密集地域である駅前に医療拠点を作る意義は何か。開発コンセプトを変更する考えはないのか。
質問事項 2	三島市におけるスーパーシティ構想への取り組み
具体的内容	5月27日にスーパーシティ法案が可決された。コロナ禍が長期化することを考えると、オンライン診療の導入などICTを活用した街づくりについて積極的に取り組む必要がある。昨年12月にスマート市役所宣言をした三島市として、国のスーパーシティ構想への取り組みはどうするのか。以下の点を伺う。
	スーパーシティ構想に関する三島市の取り組み状況
	1 国の公募が予定されている本年7月、8月頃までのスケジュール
	2 スマート市役所宣言した三島市として With コロナやアフターコロナで実現したい事は。
	3 トヨタの幹部はWOVEN CITYについて、「先進技術によって、鉄道の不備などで、これまで住宅地に不向きだった土地の価値を高めていく」という分散型都市を目指し、「新型コロナで変化したニーズに合わせて、細部を見直していく」と発言している。三島市の駅前再開発には、コロナを踏まえ、分散型都市の発想をとり入れる予定はあるのか。
	4 新型コロナ対策に注力するため、静岡市などの全国各地で既存計画の延期が発表されており、更にアフターコロナの社会づくりが必要といわれている中で、コロナ前の人口集中かつ密集型の駅前再開発の計画を変更せずに進めている理由は。
	5 再開発に注ぐエネルギーを、スーパーシティで実現できるオンライン診療など、未来を見据えたコロナ後の社会づくりに傾けるべきではないのか。